

日高中部消防組合新冠支署

車両を使用した消火訓練



2月2日、日高中部消防組合新冠支署の訓練場で、実際に車を燃やしての消火訓練が行われました。
この訓練は、近年町内で車両火災が多く発生していることを受け実施されたもので、消防隊員たちは、車両火災特有のオイルやガソリンなどの危険物に考慮しながら、いかに短時間で消火できるか検証をしていました。

鹿による牧草の被害について発表

新冠町4Hクラブ優秀賞受賞



2月5日、札幌市内で行われた北海道青年農業者会議のプロジェクト発表において優秀賞を受賞された新冠町4Hクラブの井戸雄起さんと守矢慎太郎会長が小竹町長を訪れ、受賞の報告をしました。
同団体の発表は、「新冠町の鹿事情」と題され、当町においての鹿による牧草の被害状況について調査を行い、改善策などについて発表しました。

新栄・太陽地区

冬のイベント開催



2月11日、太陽では「太陽冬の運動会」、15日には新栄で「第8回スノーフェスティバル」が開かれ、大人も子どもも冬ならではの遊びを満喫しました。
デイマシオ美術館の駐車場が開かれた冬の運動会は、太陽自治会青年部と子育てサークルはるにれが中心となり準備を進め、当日は水上アイスホッケーや軽トラ引き競争を行いました。



新栄飛行場で開かれたスノーフェスティバルは、地域の人が実行委員となり企画。約100名の参加者は、スノーモービルにけん引された雪上バナナボートの試乗などを楽しみました。

ま ち の 話 題

あれこれ

昭和音楽大学

声楽コンサート

2月20日、恒例となった昭和音楽大学と町教育委員会連携のコンサートが開かれ、音大からは声楽部の5名の講師とピアノ講師、町内からは、シンガ・シングと合唱団V.O.1が参加して、華やかなコンサートが開かれました。
「歌」をテーマに構成された今年のコンサートでは、四季をテーマにした童謡や唱歌やデイズニーの歌、それぞれの個性が光るオペラが披露されました。ナビゲーター役の井ノ上講師が「観客からブラボーと声援を受けると、歌い手は、より素晴らしい歌声が出るようになります」と解説すると、観客の声援もより一層大きくなり、出演者と観客が一体となったコンサートとなりました。



2月13日、新冠ほくと園に日本財団から福祉車両の寄贈がありました。
日本財団は、競艇の売り上げを財源に公益活動している団体で、これまでも全国に福祉車両を寄贈しています。
新冠ほくと園では、寄贈された車両を使用して、利用者の送迎や買い物などのほか、帰省時の送迎などでも使用したいと話していました。

新冠ほくと園

日本財団から福祉車両の寄贈



2月23日、道の駅駐車場に「体寒ポークまつり」が開かれ、関係者など130名が真冬の焼肉に参加しました。
これは、観光客が少なくなる冬季間の観光イベントとして試験的に開かれたもので、観光協会では、次年度以降の開催に向けて、参加者から感想や意見の聞きとりをしていました。

子ども用品のフリーマーケット

200名を超える来場者



2月14日、北星生活館で、育児サークルキンターハウス主催によるフリーマーケットが初めて開催されました。
不要になった子ども用品をリサイクルし、お互いに助け合えればとの思いから始まったこの企画は、充分に周知が行き渡らないなどの不安もありましたが、当日は予想を超える来場があり、関係者も大満足の結果となりました。

新冠町高齢者虐待防止講演会

虐待を防ぐ「地域の支え合い」



2月19日、レ・コード館シアターで新冠町高齢者虐待防止ネットワーク主催の講演会が開かれました。
講師の北海道総合福祉研究センター五十嵐理事長は、「家庭内の虐待の要因は、介護のストレスが考えられます。周囲の人が介護者の苦悩を理解し、適度な休養やストレス発散のできる環境を整えることが重要です」と解説しました。

にいかつぷ観光協会

冬の観光イベントの試験実施



2月26日、新冠温泉レ・コードの湯で、町の保健師が血圧やストレスチェック、栄養相談を行う、ふるの日健康相談会が開かれました。
この事業は、年に一度、日常生活を送る中で健康について考える機会にして欲しいと行われているもので、会場では、約1時間の間に20名を超える参加者が列を作り、健康チェックを受けていました。

毎日の生活は大丈夫？

ふるの日は温泉で健康チェック



2月26日、新冠温泉レ・コードの湯で、町の保健師が血圧やストレスチェック、栄養相談を行う、ふるの日健康相談会が開かれました。
この事業は、年に一度、日常生活を送る中で健康について考える機会にして欲しいと行われているもので、会場では、約1時間の間に20名を超える参加者が列を作り、健康チェックを受けていました。